

財 産 目 録

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	-	運転資金として	-	-	782,199
普通預金	みずほ銀行藤沢支店他	-	運転資金として	-	-	281,939,308
			小計			282,721,507
事業未収金						
事業未収金	全拠点（本部を除く）	-		-	-	117,665,462
			小計			117,665,462
未収補助金						3,784,238
原材料	貴志園					
グラウンドール事業原材料		-		-	-	304,409
一服館事業原材料		-		-	-	73,019
お弁当工房事業原材料		-		-	-	86,034
			小計			463,462
立替金						
立替金	貴志園	-		-	-	12,202,697
			小計			12,202,697
前払金						
前払金	唐池学園、吉岡保育園	-		-	-	2,875,097
			小計			2,875,097
前払費用						2,098,389
仮払金						
仮払金	貴志園	-		-	-	587,400
			小計			587,400
			流動資産合計			422,398,252
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(児童養護施設 唐池学園)	-	児童養護施設 敷地	0	0	127,463,400
	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	-	乳児院 敷地	0	0	34,402,000
	(保育所 吉岡保育園)	-	保育所 園庭	0	0	3,151,200
	(障害者支援施設 貴志園)	-	障害者支援施設 敷地	0	0	171,026,625
			小計			336,043,225
建物	(法人本部)	S62	職員宿舎	80,636,583	51,267,271	29,369,312
	(児童養護施設 唐池学園)	S43 他	児童養護施設	122,526,332	96,598,199	25,928,133
	(児童養護施設 強羅暁の星園)	S44 他	児童養護施設	198,385,565	155,608,345	42,777,220
	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	H13 他	乳児院	195,864,207	82,431,877	113,432,330
	(保育所 吉岡保育園)	S50 他	保育所	154,434,600	54,675,381	99,759,219
	(保育所 つぼみ保育園)	H1 他	保育所	250,667,600	102,261,087	148,406,513
	(障害者支援施設 貴志園)	S49 他	障害者支援施設	528,047,800	167,959,287	360,088,513
	(地域移行支援事業 マーレ貴志園)	R2	障害者グループホーム	62,802,000	3,370,374	59,431,626
			小計			879,192,866
			基本財産合計			1,215,236,091
(2) その他の固定資産						
土地	(児童養護施設 唐池学園)	-	児童養護施設 駐車場	0	0	5,824,153
	(乳児院 ドルカスベビーホーム)	-	乳児院 駐車場	0	0	9,435,000
	(障害者支援施設 貴志園)	-	障害者支援施設 事業用地	0	0	12,797,200
			小計			28,056,353
建物	(児童養護施設 唐池学園)	S55、S56	シニア養護センター、学習棟	15,418,050	8,311,346	7,106,704
	(児童養護施設 強羅暁の星園)	S58 他	会議室、冷蔵倉庫、職員寮	185,008,660	101,525,229	83,483,431
	(保育所 吉岡保育園)	H15、H16	地域育児センター室、備品収納庫	8,964,500	8,950,812	13,688
	(保育所 つぼみ保育園)	S44	倉庫	1,264,400	1,264,399	1
	(障害者支援施設 貴志園)	S57 他	作業棟 他	58,815,014	32,439,867	26,375,147
	(地域移行支援事業 マーレ貴志園)	H28 他	建物付属設備 (スプリンクラー)	18,901,486	4,218,731	14,682,755
	(放課後等デイサービス にじいろ)	H26、H27	建物付属設備 (パーテーション他)	7,425,528	4,029,669	3,395,859
			小計			135,057,585

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法人第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

財 産 目 録

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
構築物	倉庫、乾燥室、他	-	社会福祉事業	43,277,603	17,667,761	25,609,842
機械及び装置	消防用設備、他	-	社会福祉事業	78,705,915	73,548,915	5,157,000
車輛運搬具	日産セレナ他	-	利用者送迎用 他	62,232,664	48,173,152	14,059,512
器具及び備品	パソコン、応接セット、他	-	社会福祉事業	144,548,229	116,551,357	27,996,872
有形リース資産	パソコン、周辺機器	-	社会福祉事業	4,032,600	940,947	3,091,653
権利	強羅(温泉)、吉岡(井戸)、ドルカス(水道)	-	社会福祉事業	1,701,200	0	1,701,200
ソフトウェア	会計、給与、榮譽管理、保育支援	-	社会福祉事業	11,494,689	10,071,043	1,423,646
退職給付引当資産	全拠点(本部を除く)	-	退職給付積立	0	0	151,341,300
人件費積立資産	全拠点(本部、保育所を除く)	-	人件費積立	0	0	307,700,000
自動車リサイクル預託金	唐池、貴志園、マーレ、にじいろ	-	自動車リサイクル預託	0	0	103,560
差入保証金	唐池、強羅、ドルカス、マーレ、にじいろ	-	ガス保証金 他	0	0	2,072,000
施設整備等積立資産	全拠点(本部、保育所を除く)	-	将来の施設整備費	0	0	453,539,254
保育所人件費積立資産	吉岡保育園、つぼみ保育園	-	人件費積立	0	0	28,000,000
保育所施設整備積立資産	吉岡保育園、つぼみ保育園	-	将来の施設整備費	0	0	55,300,000
その他の固定資産合計						1,240,209,777
固定資産合計						2,455,445,868
資産合計						2,877,844,120
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金						
事業未払金	全拠点(本部を除く)	-		-	-	71,930,458
小計						71,930,458
1年以内返済予定設備資金借入金	全拠点(本部を除く)	-		-	-	19,282,000
1年以内返済予定リース債務	貴志園	-		-	-	806,520
未払費用	本部	-		-	-	48,814
預り金	つぼみ保育園	-		-	-	5,110
職員預り金						
職員預り金	全拠点(本部、唐池学園を除く)	-		-	-	5,295,175
小計						5,295,175
仮受金						
仮受金	貴志園	-		-	-	5,782
小計						5,782
賞与引当金	全拠点(本部を除く)	-		-	-	57,142,203
小計						154,516,062
2 固定負債						
設備資金借入金	唐池、つぼみ、貴志園	-		-	-	182,262,000
リース債務	貴志園	-		-	-	2,285,140
退職給付引当金						
退職給付引当金	全拠点(本部を除く)	-		-	-	151,341,300
小計						151,341,300
固定負債合計						335,888,440
負債合計						490,404,502
差引純資産						2,387,439,618

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法人第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。